



【刊夕】日一十月八
 加五後郵錢十五月一 錢貳金部一價
 刊休日祭曜日 錢05行 詰字21號5料告出
 治文崎川 入刷印人脚編兼行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

萬寶山事件と

一考察

三橋康豊

「支那各省には重要都市には縣公所と市政籌備處（警察權を有し、外交事項を掌る）とありて本件は一面市政籌備處外交科より縣公所に注意を促がしたるに非らずやと思はるゝ点あり、全く事前交渉なかりしか、賄賂の分配なかりし爲めか明かならず、曖昧の裡に解決するが彼等の手腕かさもなくば縣長たるの責任上体面を維持せんための奸手段と見られつゝあり、一方部落農民は官憲の使喚に依り鮮農に對し退去を迫り、且つ吉林省政府に伊通河の堰止めに契約なく之を施行せば舟楫の便を失はしめ上流は河水汎濫の爲め下流は旱魃のため被害甚大の故を支那式に誇張的に附近農民の死活問題なりと訴へたるに依り、省政府は強制命令を發し縣長は誠意ある回答を避けた、かくして愚民を煽動して工事を妨害するの暴舉に出でしめた、茲に於て領事は盛んに契約を承認して

施工に關する許可を與へたるにも不拘一方完成の域に達したる水路も堰止め可能ならざれば無用となる理由を楯にまくし立て、不法行為に對しては保護の必要ありとして警察官七名を派して援護すると共に屢々強硬に交渉したる結果六月八日日文官憲共に引揚げたる上委員を選定して現況を調査したる結果意見の交換に方り甚だしき懸隔を見彼の不誠意を看破し且つ欺瞞的態度を持する彼に理論上より日本側のとるべき方途を示して六月十二日再び警察官を急派して鮮農を擁護して工事を進めた、爾後彼も非を悟り黙認しつゝありた際堰止めを完成し得たり

正に河水を引き入れんとせんに降雨ありて天水を利して鮮農は五十天地に播種するを得た六月二十九日の兩日に伊通河に接近せる無契約の地區に在る水路を埋めたるの報に接し派遣警官は現狀に至り之を中止せしめ主班たる中川警部は支那公安分局長（警察署長）に對し貴官に於て暴動を鎮撫するの責なきやと問詰したるに彼は斯かる責任なしと答へ憤慨として姿を何れにか隠せり、間もなく農民は官憲の煽動に大舉し押し寄するの狀報ありたるも一日中は異狀なく早朝に至りて白旗を樹てたる農民約四百附近部落に入るを認め數名の警察官をして制止せしめた

水明吟社夏行

（三）

吉田 青柳子

（汗疹 蜥蜴）

陽溜りの墓碑に遊べる蜥蜴哉
 玉石の積まれしまゝや蜥蜴這ふ
 照返す石に動かぬ蜥蜴哉
 黒ばみし汗疹のあとや天瓜粉
 汗疹の兒桃湯に浴びし狭庭哉

るに彼等は多勢を恃むが故に全然制止をきかざりしが偶々一方より銃聲起りたるに依り午前四時水路及河岸に據り對抗したるに、彼等は家屋の十塀及匪賊に對する望樓より盛んに射撃をなす、警察官は携帶の傳書鳩に托し危急を報ずると共に應戦し僅々十一名を以て暴民四百人をして手を下すことの出來ざる沈着剛毅の態度を示した、幸ひに應援のため急派の永松部長以下十一名のもの午前九時に現地に到着農民は人員の増加におそれなしてか、遂に一名も前面に現れず後部落に連絡により二割迄には農民の數千と該せらる、長春に於ては事態急なりとし尙應援として吉成警部補の率ゐる巡查十名を派す、當時の狀況よりすれば夜襲の虞れありたるも彼に勇氣なく唯官憲の使喚に蠢動するのみなれば結局平穩裡に夜を徹す、交通不便にして乗馬傳令を以て連絡せしむ往復四時間なり、派遣警官は防禦工事を施し日夜不眠不休の警衛を續けつゝあり、田代領事の措置よろしきを得たる結果支那側當事者遂に我を折り漸進的に解決し得るの見立ち埋没箇所は新に長春より苦力をおくりて作業に従事しありて、第二回の播種も見込みも十分なるのとき却て朝鮮方面に於てはニュースに依り報導されたる各種の記事は時に誇大に傳へられる点なきにしも非らずと思料せらるゝ

クタ、アターに依り反感を勃發せしむるに至りたるは洵に遺憾である。

婦人用傘特價品提供

錢十五圓一・圓一・錢十九

ツルヤ 電140

八月十三日より七日間

御中元には三井の品を

御贈答用御仕着に格安品豊富に取揃へ全商品大提供!!

三井の井	獨	特廉賣品
本場銘石	二圓五十錢	圓
明形	五圓	圓
中形	五圓	圓
白形	五圓	圓
サ	三十八錢	圓
ラ	三十錢	圓
シ	三十錢	圓
天笠(大巾一丈)	四十錢	圓
ちぢみ(時、白、水大巾一丈もの)	五十錢	圓
女夏帯	一圓	圓
アト帯	十錢	圓

其他大見切堀出シモノ澤山

御進物に三井の商品券

御中元の御用命は!!!

平町 三井吳服店

御新佛への大サービス

法名入提灯の大廉賣

瓜形 一對房付 金二圓五十錢ヨリ
 角形 一對房付 金三圓ヨリ

經尺三 金三圓ヨリ 尺四 金四圓半錢ヨリ
 尺五 金五圓半錢ヨリ 尺六 金七圓ヨリ
 尺八 金九圓ヨリ 二尺 金十四圓半錢ヨリ

是非御下命は電話九五番?

平四丁目

スガノヤ提灯店

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 難波 陸
 醫學博士
 電話 五〇二番

科人婦科産 院醫坂井

町田町平 香九五話電

一冊の代金で 御希望通りな

五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡 回文庫

(申込次第規則書進呈)

愛讀者への奉仕

川崎小鳥著

満州土産談

四六版二百數十頁

◇月極讀者に無代進呈◇

本紙連載の川崎本社社長執筆「満州土産談」は前後百回に亘り、満州を鋭利な観察眼に依つて、あらゆる方面より、縦横に解剖し、軽妙な筆致は、よく其の實相を捉え來つて餘す處なく、眼前に展開しました。本社は各方面の求望に鑑み、茲に多大な犠牲を拂つて、單行本となし日頃の御後援に酬えん爲め、讀者諸彦に、洩れなく無代進呈する事となり、目下印刷中であります。今や日支兩國間の交渉往來益々緊密なるに當り、満州の近情を明らかに知る事は、轉じて我が國運の歸趨を卜すに足るべく、従つて、國民必讀の文字は此の好著の全幅に飛躍して居ります、御期待を願ふと同時に本社の微衷を諒せられよ！

今度は雨乞ひ

連日の天気續きて

畑作物全く干上り

この調子では全滅

石城地方は三十日近くも降り續いた過般の雨に閉口して雨止みの祈願までする程であつたが近頃は連日の天気であべこべに雨を欲しがつて居り殊に大浦、夏井、豊間の如き、砂地畑はガサ／＼に干上つた爲後四五日もこの調子に照らされては畑作物は全滅だといよ／＼各村毎に雨乞ひをする

鮫川河口の

舟遊び繁昌

植田町地先鮫川の鮫川河口間の舟遊びは同町錦村鮫川橋揚會が中心となり宣傳に努めつゝある結果逐年隣縣茨城縣及平町地方よりの客を増して居り正に夏季中の石城名物の一に數へらるゝに至つた目下數組の申込に連日

多忙を極め殊に土曜日、日曜等の賑はひは素晴らしいものである同舟遊びは川地曳をなしたつて河口に下るもので野趣豊幽邃の氣に満ちてゐる清遊で船中に捕魚料理並に中食一切の準備がある會費は一人前八十錢程度で十人以上は中寄付きとなつて居り夏の一日の遊びとしては類のない愉快なものである平町新川町青年分團では九日催し尙白銀青年團でも十二、三日頃行ふ筈

郡下青年の跳躍

廿日磐中グラウンドに

既報石城郡聯合青年團主催の郡下青年團體大會は二十日午前八時より磐中グラウンドに於いて開催されるが前回優勝好問青年團より優勝旗の返還式後各種陸上競技及武道の柔剣道の争覇戦を行はれるので各青年團は今から猛烈な練習を行つてゐると

産業組合の

部會長後任

石城産業組合部會では豫てより前部會長山崎與三郎氏の後任を物色中であつたが十六日午前九時より江名町小學校に臨時總會を開き部會長の選挙を行ふと

統計調査任命

平町第五區(鎌田、立町、堤ノ内)の前統計調査員鈴木政一氏は六月十二日病(した)爲め

今日の話

此の頃は家の外にも内にも人體ことに御子様たちの柔かい皮膚に害を與へる昆虫類が出来る。やせた土地でも別に世話を致しませんでも植えてさへおけば成長するハズ草は、蟲類(蜂蛇毛蟲百足蚊蚋南京蟲其他すべての毒蟲)に、さつれた時直に其の葉を揉んで其の汁をつけますと痒みも痛みも感ぜず腫れもせずに治ります。蟲にさされたのに効のあることはアシモニア類の藥品のとも及ぶ所ではございません。御子様の御ありの御宅には數本植えてお置きになります様に御勧め致します。

これが後任に鎌田町の鯨岡藤七氏が任命された

リンゴ栽培 石城郡摘果の最中

は目下摘果中であり、一箱(六百匁入れ)三圓内外で市場へ販賣されてゐるが石郡農試分場では植苗してから五年目に實が成り一本につき二百個位收穫が出来この地方は旭、祝ひ、ウイソレット、黄魁、クーパーサリーノ早生品種が最も虫害も適してをり七月上旬から遅くも九月上旬までに收穫が終ると

卒のもとに同町肥料會社及測候所等を見學する筈である

湯本堆肥講習 石城郡湯本町農會では十二日午後一時から同町小學校講堂に於いて堆肥製造法の講習會を開催する筈であるが郡農會からは柴田技師が講師として出張すると

平町人事

- 出生
 - △田町六九 箕輪鶴吉氏長男孝雄
 - △紺屋町五 當時石城郡小名濱町字上町七木田松松氏三男健
- 婚 姻
 - △振地小路一 洋服商佐藤信高(二九)千葉縣印旛郡永治村字小倉伊藤登美(二三)

文藝募集

- △鎌田町一五 農吉村惟道(三〇)石城郡草野村大字泉崎字野井作渡邊操(二二)
- △東京市淺草區小島町三八 團扇商小川種四郎(四〇)紺屋町一 杉本トモ(三三)
- △南町(一) 薬谷コウ(五四)

美味しいパン

食パン	1斤	14
アンパン	6ヶ	10
クリームパン		04
ジャムパン		04
バナナ		04
甘食		04

目丁四平
ヤトモツマ
番四一二話電

債券・公債・爲替金融

多田井質店

平町大工町
電話五九一番

花柳科専門

木村科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際
電話三〇九番

日活の妖星……

伏見直江 一姉妹

御挨拶と實演……

ヒルの部。十二時ヨリ

ヨルの部。六時ヨリ

平館

盗んだ鐵道パスで 列車を乗り廻し

海水浴場専門に賊を働かす 僅か十五の少年

石城郡内郷村字高坂市村伍郎(一)假名は五月頃平鐵道官舎の空巢荒しを働かす未成年の故を以て許されたが其後も改悔せず七月下旬石城郡小名濱町

海水浴 脱衣場で白河郡白河町西町小室文吾の次男白河中學五年生、小室實(二)の制服制帽及同人所有の鐵道省從業員パス券を窃取其のパス券を使つて靜岡縣沼津市に

高飛し 金に窮するや海水浴場を荒し廻り靜岡、神奈川、東京、茨城と海水浴場荒し専門に移り渡つて本月五日再び小名濱の海水浴に舞戻つたが被害各地の警察署では遺り口が同一であるので全國に手配中平署では内郷村高坂の前記市村が暫く姿を見せぬので

探査を進めて居た處十日午後十時頃同村宮地内を徘徊する中學生を平署刑事が取押へ取調た結果捜索中の市村と判明直に平署に押送し目下嚴重取調中であるが既に小名濱を始め茨城縣大磯町での犯行を自白したと

映畫女優の夢も破れ 奈落の底へ無理往生

悪婆の口車に乗せられて 取返しつかぬ田舎娘

石城郡湯本町三國周旋業猪狩トヨ(一)は山形縣東置賜郡宮内町高橋廣次の二女モト子(二)が映畫女優を志願して居たのを奇貨として此不景氣では女優は見込みがないから夫れより金の取れる仕事を周旋し様と去る一日同町表町飲食店大和屋方へ前借七十圓で厭がるモト子を無理に酌婦に住み込ませ

桑畑がコロ坊主

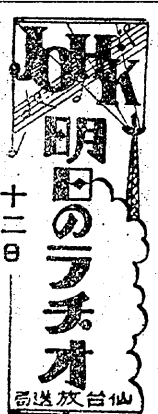
一重賣りした事が判り 怒つて平署へ

石城郡三坂村字差鹽の藁谷政一(一)は去月中旬同村の本間千代吉(二)から夏蠶用桑を五畝歩買入る事に契約し手付金二十圓を渡した為め六日家族を連れて桑畑に出た處買取つた桑畑には一枚の桑葉もなく附近の者に聞くと同村の山口と云ふ者へ二重賣りした事が解つたので本日平署へ告訴した

敷地買収も 八分通り纏る

湯本水道工事 既報石城郡湯本町の水道

既報石城郡湯本町の水道工事は大体八分通り鐵道管理に要する敷地買収が纏ま



今晚の部
後六、〇〇(子供の時間) 連續童話劇 昭和太郎君 高速度日本一周記(名古屋の巻)名古屋雛菊童話會員

後六、三〇 東西文學の比較 佛國近代小説 露西亞小説と日本の翻譯小説(三) 馬場孤蝶

後七、〇〇 全國ニュース(宮廳ニュースを含む) 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告

後七、三〇 珠算講座「追講の二」仙臺商業學校教諭砂金太右衛門

後八、〇〇 映畫物語「鼠小僧旅枕」青木静波

後八、三〇 狂言 島田政志社中

後九、〇〇 ギャイオリン 獨奏アレキサンダーモザレフスキー(ピアノ) 伴奏 ナデジタロイヒテ

後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

明日の部
前六、〇〇 ラデオ体操

前六、三〇 夏期英語講座「初等科」(八)寺西武夫

前九、〇〇 氣象通報

後九、一〇 料理献立「氷素麴」石竜たか發表 日用品値段

前一〇、三〇 夏期講習「兒童舞踊」(五)花柳珠實

正午 時報

後一〇、五〇 但詠「小原節」

後一〇、四〇 全國ニュース 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項

後二、〇〇 健康講座「皮膚病の手當」醫學博士前田保之助

後四、〇〇 全國ニュース 河北新報社ニュース

後五、〇〇 珠算講座「改

女の寫眞を懐中し 鐵道自殺を企つ

思ふ女と添えぬを悲觀し 狭い世間に頼る人もなく

内郷村豪農の息

石城郡内郷村某豪農米穀商の息子渡邊保(一)は九日午前一時十四分頃常磐線上市急行列車が富岡驛構内を通過せんとした際プラットホームから線路に飛び込み自殺を圖つたが幸ひ驛員に抱

偽物を掴まされ 激怒した金貸業

女生徒豊間へ平町 場を無断で逃げ出し平町迄

平町田町三古物商萩野信良(一)は双葉郡大久村字大久猪狩八郎(二)からの借金六百六十九圓餘の支拂を請求され現金はとも支拂へぬから堀出し物谷文晁の落款ある掛軸と天國の名刀を渡すとの事に猪狩は去る六日夫れを本物と思つて引取り鑑定を受けた結果偽物と判明したので憤慨其極に達し本日平署へ告訴に及んだ

自動車が衝突 五才の幼児と

九日朝石城郡植田町本町後

九日朝石城郡植田町本町後藤義弘方運轉手細島保(一)は乗合自動車運轉勿來町に向ふ途中同郡錦村中田地内國道で同村蛭田智(二)と衝突し顔面その他に全治一週間の傷を負はせた

母親が急病で 逃げ出した工女

相馬郡中村町生れ郡山市日東紡績女工佐藤サメ(一)は母親急病との便りを受け居ても起つても居れず前記工

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

小説 七五郎

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

破産 (一)

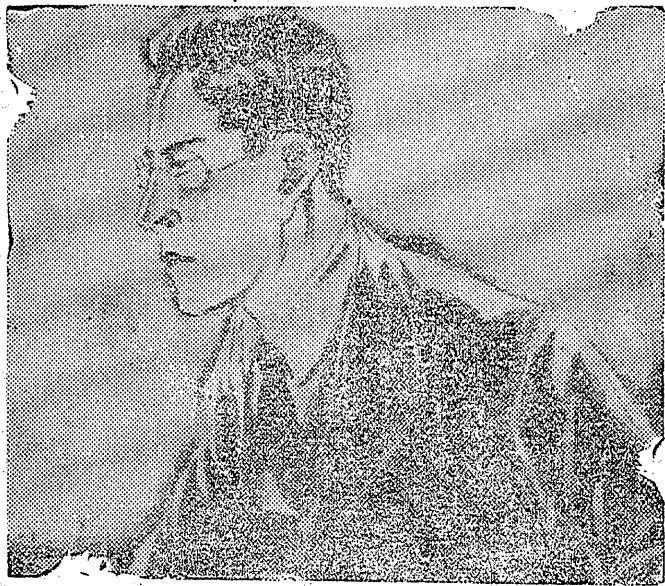
運轉手の木村清作はずつと前に女房に死に別れて、娘のお歌と二人ツ切りの寂しい生活をしてゐたのが勤めてゐた宮内省の改革で餓首になつてからひよいと相場に手を出して失敗した。

お歌が子供の時分から可哀がられてゐた新橋の踊の師匠の所へ出かけて行つて藝者になりたいからお世話をしてくださいと泣きついたのは、其のいさくさのあつたサナカだつた。

娘を泥水に沈めるといふことは清作にとつて勿論好ましくなつたけれども、行き詰つた場合背に腹はかへられぬと涙を吞んで公證人役場の門をくゞつた、お歌が歌治といふ名で新橋の徳の家からお披露をしたのはそれから問のないことであつた。十文字商會は合名會社になつてから日の出で勢で發展した。

源之助自身横濱へ出張して外人を相手に運動したり支配人の川島秀雄が京阪地方の書畫屋を買収して目的利かない成金たちにかさま物を賣りつけたりした營業政策が當つて、半年もたぬうちに數十萬の利益が

あつた。それに調子づいて美術品ブローカーの外に鑛山や織物、器械のやうなものにまで手を出した、そして幾つも會社をこしらへて、どしどしと資本を注ぎ込んだ。



源之助と歌治とは馴染の一夜から深い縁の糸がつながり合つて、歌治が自分の妹の千代子と學校朋輩が判つたなどは不思議なローマンの一個であつた。が、それも長続きがしなかつた。間もなく二人の仲に隔ての垣がゆはれて面白くないこと／＼が起りかけてゐた。「源之助、困りましたな。こんな風に金が出ては私や切れないがな、何んとか緊締つて貰はんと私の立瀬がなくなりまますよ」

一しきり三輪半兵衛の名は實業界の隅々にまでとどろき渡つたものだつた。源之助と小島とは俄に實際の範圍がひろくなつて、毎晩のやうにそちこちの花柳界を遊んで廻つた。二人ともさういふ暗い空氣の中に泳いでゐる女と色々のいささつが出来た、その中で

種は生やしませんや、今に何倍かになつて戻つて來るのですからね」
「それが如何なるのか當にならないから氣を揉むのです、もういゝ加減にして貰ひたいな」
「今頃そんなことを仰言つたつて仕方がありません」
「それにお前も少し謹慎し

て貰はないと、家の取締りにもかゝるがな、此頃は家で寝ることがとんとないつつてもよい位だつて、千代子がひどく心配してゐるのだお前は」
「私ですか、いえ、別に……やはり、その何です。實際が頻繁なものですから……活動、活動の時間が長いので」
「何處で何の活動してゐるのか知らないが、夜半までも交際してゐなかつたつてよさうなものだ」
「いえ、俱樂部では重に夜の時間を利用してギヤザリング、即ち宴會をやるのが例ですから……」
「何が利用だ。まあ、當分は出ないようにして下さい出火でもした節にや困るから」

暑中御伺ひ 精幸堂時計店

高橋 幸
平町 播磨小路
電話(呼)六三二番



季節料理

うな井 0.50
うな重 0.70

平田町(錦水隣り)
かば焼 魚 榮
電 424

暑中御伺

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

特卸 治療 福島縣平町五ノ廿八
約代理 志賀齒科醫院
販理 福島縣平町白銀町九
賣部 産婆 關口悦子
定價表 金拾參圓 藥及特効サゴ五週間分付
金拾圓 藥及特効サゴ五週間分付
(説明書呈)

専門 内科一般

住宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

平新川町十九

木村病院

電話一六四番
院長 木村寅次郎
婦人科 松永憲一
内臓外科 醫學士 萩原駿二
整形外科 東京藥學士 萩原駿二

吉田眼科病院

平新川町、電話六八八番

開

店内の照明装置等總べてウルトラモダン

氣分第一。味覺本位

華麗な ウエイ トレス のさいビス振 り正に エロ一 〇〇% を自負

體健 藥計 關大藥局
電話 〇〇〇番